

令和2年度 研究外部評価（事前評価）におけるコメントおよび対応

整理番号	テーマ名	評価点	総合評価
20-P1	レーザー肉盛による抗菌・抗ウイルス性銅薄層形成技術の開発	16.4	B
研究期間	令和3年度		
研究概要	抗菌性・抗ウイルス性を有する銅を用いた製品製造を目指し、ブルーレーザー肉盛積層装置による密着性が強固な銅薄層の高速形成技術を開発し、オンデマンド表面処理技術の確立を目指す。		
外部評価委員のコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行により、抗菌・抗ウイルスに対する世の中のニーズは非常に高まっているので、研究成果が出るのを楽しみにしています。変色に対する評価もよろしくをお願いします。 ・スピードを上げるための計画見直しを期待します。 ・スペース生産性まで考慮に入れた目標設定は、実用化の際に大きな利点となり得ます。銅薄層が要求される市場が今回のターゲット以外にもあるかどうかのリサーチも並行して進めたらよいのではないのでしょうか。 ・抗菌性・抗ウイルス性、密着性等もさることながら、外観や触感（粗さ）についても評価検討してもらえればと思います。層形成にブルーレーザーを用いる優位性について研究結果を期待いたします。 ・今年度の計画としては問題ないと判断されます。新しい技術なので今後に期待しています。 ・興味深い研究であるが、製作予定の対象について多様な応用先を考えて多視点からの評価が欲しいところです。 ・全国でもあまり例の無い研究かと思えますので、ブルーレーザー肉盛りについての種々のデータ取りだけでも、その成果は皆に注目されるものと思えます。新製品開発という事については、コロナ禍の中タイムリーな研究だと思いますが、実際に製品化となると形成速度だけで無くコストを含めた生産性の問題となるとちょっと厳しいのではないのでしょうか。 ・実用化に際して、他処理（酸化Tiなど）と比較しての差別化やメリットを定量化したデータとしてアピールすることをお願いします。 ・成果の利用目的が明確な技術開発であり、製品化のイメージが明確な研究です。 			